

海月姫 (2014)

メディア 映画

ジャンル コメディ ロマンズ

製作国 日本

時間 126分

初公開日 2014/12/27

公開情報 アスミック・エース

映倫 G

【キャッチコピー】

我がオタク人生をかけて、
出陣であります！

【解説】

TVアニメ版も好評を博した東村アキコの同名人気少女コミックスをTV「あまちゃん」の能年玲奈主演で実写映画化した痛快シンデレラ・ストーリー。オタク女子の巣窟と化した男子禁制の古いアパートに暮らす女子カゼロのヒロインが、突如現われた女装美男子と童貞エリートの兄弟との出会いをきっかけに、初めての恋や地上げ騒動といった試練に立ち向かい、悪戦苦闘しながら成長していく姿をコミカルに綴る。監督は「のだめカンタービレ 最終楽章 後編」「映画 ひみつのアッコちゃん」の川村泰祐。

イラストレーターを目指して鹿児島から上京したクラゲ命の女子、倉下月海。彼女の住む男子禁制のアパート“天水館”には、他にも鉄道オタクや三国志オタクといった個性あふれるオタク女子が集っていた。彼女たちは自ら“尼～ず”を名乗り、“男を必要としない人生”をモットーに、己のオタク道を極めることにエネルギーの全てを注ぐ生活を送っていた。極度に人見知りの月海も、そんな男っ気ゼロの住人に囲まれ、恋やオシャレと無縁のお気楽で居心地いい毎日を過ごしていた。そんなある日、ひよんな出会いから、まるで美女にしか見えない女装男子・鯉淵蔵之介と知り合いに。蔵之介は月海の女子力を磨くことに楽しさを覚え、すっかり天水館に入り浸るようになる。そんな中、尼～ずの聖地にして最後の砦＝天水館が地上げによる取り壊しの危機に直面してしまう。

【クレジット】

監督	川村泰祐
エグゼクティブプロデューサー	豊島雅郎
プロデューサー	鈴木伸育 井手陽子 宇田充 松下卓也
共同プロデューサー	鈴木俊輔 加茂義隆
アソシエイトプロデューサー	坪屋有紀
ラインプロデューサー	橋本竜太
原作	東村アキコ
脚本	大野敏哉 川村泰祐
撮影	福本淳
美術	笠井亜紀

衣装	井手珠美		
編集	森下博昭		
音楽	前山田健一		
音楽プロデューサー	安井輝		
主題歌	SEKAI NO OWARI	SEKAI NO OWARI	『マーメイドラプソディー』
スタイリスト	飯嶋久美子		
照明	市川徳充		
録音	小松将人		
装飾	渡辺大智		
ヘアメイク	赤間直幸		
スクリプター	中田秀子		
VFXプロデューサー	道木伸隆		
助監督	成瀬朋一		
ドレスデザイン	飯嶋久美子		
テクニカルプロデューサー	大屋哲男		
ナレーション	佐藤健輔		
出演	能年玲奈	倉下月海	
	菅田将暉	鯉淵蔵之介	
	長谷川博己	鯉淵修	
	池脇千鶴	ばんばさん	
	太田莉菜	まやや	
	馬場園梓	千絵子	
	篠原ともえ	ジジ様	
	片瀬那奈	稲荷翔子	
	速水もこみち	花森よしお	
	平泉成	鯉淵慶一郎	
	浅見れいな	月海 母	
	中村倫也	熱帯魚店員	
	内野謙太	柏木	
	大石吾朗	西園寺さま	
	大里菜桜	幼少期の月海	
	嵐祐人	幼少期の蔵之介	
	島村まみ	蔵之介 母	
	菅登未男	元議員の老人	
	ドン小西	Don Konishi	ドン小西
	有末麻祐子		女友達A
	佐藤あや		女友達B
	高田秋		女友達C
	怜花		
	新平真里亜		
	大野ひかる		
	鯨エマ		
	荒井志郎		
	黒岩司		

阿部翔平
松井茜
新森大也
中島愛里
中野剛
佐藤貴也